

---

# 電磁装甲兵ルルルルルル'25

関村俊介

---

## 登場人物

弟	兄	青山	加藤	野口	小柳	吉永	川上	杉木	赤川	田中
マツナミ弟	マツナミ兄	アオヤマ	カトウ	ノグチ	コヤナギ	ヨシナガ	カワカミ	スギキ	アカガワ	タナカ

そこは基地の中だけど、街が一望できる場所。椅子とゴミ箱がある。

タナカが立って街を眺めている。

薄く、工事現場的な音が聞こえている。

後ろの椅子にはアカガワとスギキが座っている。

赤川  
また見てる。

田中  
え？

赤川  
誰もいない街。

田中  
街じゃなくて、ロボットを見てるんだよ。

赤川  
知ってる。好きだねえロボットが。

建物が壊れる音。

田中  
あ、また壊した。

赤川  
好きだねえロボットが。

杉木  
どこ？

田中  
昔は漬物屋だったところ。

杉木  
あー。あそこ。あそこの漬物、しょっぱかったよなあ。

赤川 好きだねえ漬物が。

田中 漬物はそんなに好きでもない。

赤川 あ、そう。好きだねえロボットが。

杉木 漬物屋って、おばあさんが引退して店たたんだあとはなんになったんだっけ？

田中 携帯電話屋。それがつぶれて唐揚げ屋になって、冷凍餃子屋になって、変な名前の食パン屋。

杉木 あー、そうだ。

赤川 タピオカ屋だった時もなかったっけ？

田中 あ、それもあつたわ。

杉木 二人ともよく覚えてるなあ。

田中 お前が覚えてなさすぎなんだろう。

杉木 そう？普通だと思うけど。あ、そういえば、その漬物屋の上に誰か住んでたよな。

田中 うん。

杉木 誰だったっけなあ、中学で同じクラスのやつだったと思うけど。

田中 うん。それ、スギキ。

杉木 あ、スギキ？スギキって、俺だよな？

田中 うん。

杉木 俺だったか。

赤川 好きだねえスギキが。

田中 スギキはまったく好きじゃない。

杉木 おい。

赤川 好きじゃないねえスギキが。ロボットしか好きじゃないんだね。

田中 そんなことはないけど。

建物が壊れる音。

田中 また壊した。

杉木 今度は？

田中 銀行のビル。

杉木 でかいのいったねえ。

田中 いくらなんでもやりすぎだろ。

赤川 好きだねえこの街が。

田中 好きなのかわかんないなこの街は。

赤川 そう。じゃあ、ちよつとくらい壊したっていいんじゃない？みんな避難して誰もいないんだから。

田中  
でも。

赤川  
どうせ敵が来たら壊れるんだし。

田中  
そうかもしれないけどさ。

赤川  
私は逆に爽快だと思うけど。

田中  
爽快って。

杉木  
この街で育ったんだもんな。

田中  
うん。

杉木  
やっぱりちよつとな、寂しいよな、思い出が、壊れていく、感じがして。

田中  
自分の住んでた場所も忘れてたやつがいうことじゃないけどな。

杉木  
それはたまたま忘れてただけだから。住んでたの高2までだし。

田中  
高2まで住んでたら永遠に忘れらんねえわ。

建物が壊れる音。

杉木  
それにしても、平和だねえ。

田中  
平和ではない。

杉木  
そう？

田中 街がどんどん壊れてんだから。平和ではねえよ。

杉木 壊れたって、敵が来てないんだから、平和でしょ。

田中 ていうかさ、あの人たちロボットの操縦ヘタクソだと思わない？

赤川 まだ訓練中らしいからね。

田中 でもさ。

赤川 ヘタクソだから練習してるんですよ。練習ってそういうもんですよ？

田中 そうだけど。だったら、俺でもいいと思わない？

杉木 ロボットのパイロット？

田中 うん。

杉木 (アカガワに) はいどうぞ。

赤川 好きだねえロボットが。

田中 好きだよ。いいだろ別に。

杉木 好きなのはいいけどさ、パイロットになれると思ってるのがなあ。

田中 なに？

杉木 俺たちは清掃員だよ？この基地の。

田中 それが？

杉木 それがいきなりロボット乗せて貰えることなんかある？

赤川 ないよねえ。

杉木 アニメでもそんなのないよ。

田中 そうなの？

杉木 ないだろ。たぶん。いや、知らねえけど。アニメ詳しいわけでもないし。もしかしたらいたかも  
しれないけど。え？どうなの？

田中 自信ないならアニメに例えるなよ。

杉木 それはすまん。アニメは忘れてくれ。でも、常識的に考えてないでしょ。

田中 そうかもしれないけど、パイロットの1人がロボット乗るの嫌になっちゃって辞めたりしたらさ、  
かわりの誰かが乗らなきゃいけないわけじゃん。

杉木 そうだね。

田中 じゃあ、チャンスはあるじゃん。

杉木 そうか。そうか？

赤川 ないよ。

杉木 ありがとう。ないよね。

田中 俺はあると思うから。

赤川 そういう場合のための補欠みたいな人もちゃんというと思うけど。

田中 いやまだ決まってるじゃないと思うんだよ。

杉木 なんで？

田中 そういう人が訓練してるの見たことないじゃん。

杉木 たしかに見たことないか。

赤川 騙されないでー。

杉木 え？どういうこと？

赤川 いやいやいや、誰が乗ってるかなんかここから見えてわかるわけないでしょ。ロボットが動いてる

のしか見えてないんだから。

杉木 あ、そっか。

田中 でもさあ。

赤川 本当、好きだねえロボットが。

カワカミが来る。

川上 わ、またいる。

田中 おつかれさまです。最高司令官。

川上 こんにちは。

赤川 こんにちは。

杉木 すみませんね。いつも。

川上 休憩時間なんですもんね。

田中 はい。この時間にここで休憩できるように私は仕事をとても頑張っています。

川上 そうですか。

田中 はい。

川上 申し訳ないんですけど、毎日いってるとおり、ロボットのパイロットはもう決まってるんで。

田中 わかっています。

川上 それならいいんですけど。

田中 でも、今のパイロットの彼らはあまり操縦が得意ではないように私には見えます。

川上 まだ訓練中ですからね。

田中 最高司令官、質問があります。

川上 からみにくいわー。

田中 彼らのうち誰かがなにかの事情で辞めた場合のバックアップパイロットは決まっているのでしょうか。

川上  
え？

田中  
特にそういった人物が訓練をしているのを見た記憶がないのですが。

杉木  
タナカ！

田中  
なんですか？

杉木  
ここから見えるのはロボットだけだから、誰が乗ってるかなんかわかんないぞ！

赤川  
あんたよく自分が気付いたことみたいに言えるよね。

川上  
たしかに決まってるけど、候補みたいのはいるから。

田中  
私はそれを選ばれる準備ができています。

川上  
はあ。

田中  
よろしくおねがいします。

川上  
まあ、はい、いちおう覚えてはおきます。

田中  
ありがとうございます！

川上  
もういいですか？私、訓練見なきゃいけないんで。

田中  
はい、お忙しいところ話を聞いていただきありがとうございます。

杉木  
じゃ、行くか。飯。

赤川  
私はおにぎり持ってきてるから。

杉木  
そ。

田中  
失礼します！

スギキとタナカは去った。

赤川  
好きだねえロボットが。

アカガワは鞆からおにぎりを取り出して、  
その包装を剥がして、ゴミ箱に捨てる。

川上  
普段はあんな人じゃないんでしょう？

赤川  
はい。

川上  
普通に話すように言ってもらっていい？

赤川  
できるかなあタナカに。

川上  
せめてカワカミさんって呼んでほしいんだけど。

赤川  
カワカミさん。

川上  
うん。でも、よくわかったなあ。

赤川 なにがです？

川上 パイロットに決まってる3人しか訓練してないこと。

赤川 え？

川上 たしかにバックアップの候補の人とかはまだ乗せてないんだよ。

赤川 へえ。凄いですね。

川上 見る目はあるね。

赤川 そうですか。

川上 それとロボットに乗るのは別の話だけど。

赤川 ですよね。

建物が壊れる音。

川上 しかし本当によく壊すな。

赤川 そうですね。大丈夫なんですか？

川上 でもあんだけいろんな建物にぶつかってんのに、傷ひとつ付いてないから。こんなに頑丈だった  
ら、まず敵に負けないはずだよ。電磁装甲兵ルルルルル。

オープニングテーマが流れる。転換。

ヨシナガとコヤナギがやってきてゴミ箱にジュースの缶を捨てる。

ヨシナガは登場時からオープニングテーマを唄っている。

小柳　なに？その歌。

吉永　テーマ曲。

小柳　なんの？

吉永　あれ（外にいるロボット）の。なんか偉い人に頼んで作ってもらったらしいよ。  
そんなの作ったんだ。

吉永　巨大ロボットにテーマ曲は、普通、あるからね。

小柳　普通とかないけどね。

吉永　どういうこと？

小柳　世界初の巨大ロボットなわけだからさ。

吉永　だから？

小柳　普通とかないよね、前例がないわけだから。

吉永　ちよつとよくわかんないけど。

小柳　わかんないか。

吉永 うん、わかんない、だってあるんだしテーマ曲。

小柳 そうなんだけど。

吉永 でもさ、似合ってるでしょ？曲。

小柳 あれに？

吉永 そう、ルルルルルルルルルル。

小柳 ルルルルルルね。

吉永 ル、何個だっけ？

小柳 7個。いい加減、覚えたほうがいいよ？

吉永 何個だっけいいじゃん。

小柳 よくないでしょ。意味があるんだから。

吉永 あるの？

小柳 3体のマシンが、合体して、あれになるわけよ。

吉永 それは知ってる。

小柳 1号機と2号機と4号機が合体するから、合わせて。

吉永 1と2と4が合体して、7ってことか。

小柳 そう。足し算はできてよかったよ。

吉永 分数の足し算はできないけどね。

小柳 できないのかよ。

吉永 なんでも3号機は無いのかね。

小柳 ヨシナガには理解できないような気がするけど。説明したほうがいい？

吉永 コヤナギ。

小柳 なに？

吉永 理解してみせる。

小柳 ああ、そう。

吉永 説明してみて。

小柳 簡単にいうと二進数みたいなことなんだけど

吉永 おかしいだろ！

小柳 え？え？

吉永 簡単にいうと、のあとに、簡単じゃない言葉がでてきてる！

小柳 二進数のことかな？

吉永 そうだよ！そんな言葉聞いたこと無いもん。

小柳 中学校くらいで習ったはずだけど。

試し読みしていただけるのはここまでです。

この続きは商品をご購入の上ご覧下さい。

電磁装甲兵ルルルルルル'25（おためしサンプル）

---

2025年11月20日 初版発行

著 者 関村俊介 © 2025年

発行者 石村寛之

発行所 有限会社レトロインク

〒181-0001 東京都三鷹市井の頭4-26-7

電話 0422-24-9529

---